

小田原市子どもの貧困対策推進庁内連絡会議について

1 趣 旨

令和5年3月に策定した「子どもの貧困対策推進計画」に沿って子どもの貧困対策を着実に推進するため、子どもの貧困対策庁内連絡会議を設置する。

連絡会議では、計画に位置付けた事業の進捗状況や課題を共有した上で、関係課が連携することにより、課題の解決や事業効果の向上、新たな施策の創設等につなげることで、本市の子ども・子育て支援に関する施策を、貧困対策の推進に資する事業へとシフトさせる。

2 組織構成

- 1 市民部人権・男女共同参画課
- 2 文化部文化政策課
- 3 文化部生涯学習課
- 4 福祉健康部福祉政策課
- 5 福祉健康部生活援護課
- 6 福祉健康部障がい福祉課
- 7 子ども若者部子育て政策課
- 8 子ども若者部子ども若者支援課
- 9 子ども若者部保育課
- 10 子ども若者部青少年課
- 11 経済部産業政策課
- 12 建設部建築課
- 13 教育部教育総務課
- 14 教育部教育指導課

3 実施方法

連絡会議において取り組む「テーマ」を設定し、関係課が連携・協力しながら、一体となって貧困対策を推進していく。

- (1) **通期テーマ**（※計画期間中継続して取り組むもの）

「子どもに向けた支援策の積極的・効果的な周知について」

- (2) **年度別テーマ**（※年度ごとに設定）

連絡会議において関係課により協議し、当該年度に取り組むテーマを設定する。

4 小田原市子ども・子育て会議との関係性

連絡会議の取組状況は、「小田原市子ども・子育て会議」へ報告し、委員から意見をいただきながら進めていく。

5 令和5年度スケジュール

- (1) 第1回会議 7月28日
- (2) 第2回会議 8月23日
- (3) 第3回会議 2月下旬開催予定

6 第2回会議の概要について

- ・第1回小田原市子ども・子育て会議でいただいた意見について、関係課で共有。

(主なご意見)

- ・貧困かもしれないという視点を持つことが大切だということを、みんなに伝えることが大事だと思う。
- ・困っている家庭や本人と直接つながっている人（支援者）が、きちんと相談窓口を知っている必要がある
- ・情報シートがあると良いと思う



(通期テーマとしての取組み)

- ・市内連絡会を活用し、事業などを周知するための連絡ツールとして活用できるよう体制を整える。

(年度別テーマとしての取組み)

- ・貧困や困りごとに対する支援策が分かるシート（チラシ）を作成し、配布するとともに、市のホームページにも同様のページを作成することとなった。現在、子育て政策課で案を作成中である。
- ・市内や関係団体のみならず、民間企業や商業関係者にも広く周知依頼を行ってはどうかという意見があった。